

2022年10月27日

各 位

オリックス銀行株式会社

## 当社初のサステナビリティボンドを発行

オリックス銀行株式会社（本社：東京都港区、社長：錦織 雄一）は、11月2日、当社初となるサステナビリティボンド（無担保普通社債）を発行しますのでお知らせします。

本サステナビリティボンドは、国内市場で公募形式により発行します。調達した資金は、当社の「サステナビリティファイナンス・フレームワーク」<sup>※1</sup>で定める「サステナビリティ適格クライテリア」を満たす6つの事業区分のプロジェクトへの投融資に充当します。なお、本フレームワークは、株式会社日本格付研究所（JCR）より「JCRサステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」の最上位評価であるSU1（F）を取得しています<sup>※2</sup>。

当社は、地域金融機関などの機関投資家のESG投資ニーズに応えるため、グリーン性・ソーシャル性の評価を有する証券化商品の提供を進めています。サステナビリティボンドで調達した資金を、環境・社会問題の解決に貢献する企業やプロジェクトへ投融資するとともに、これらの資産を裏付けとする証券化商品を組成し、ESG分野への資金供給と投資機会の提供の循環を加速・拡大します。

オリックス銀行は、サステナビリティを基軸とした経営・事業活動を通じて、お客さまと社会のさまざまな課題を解決し、持続可能な社会の形成に貢献してまいります。

以 上

※1 [2022年1月25日付、お知らせ別紙「サステナビリティファイナンス・フレームワーク」](#)

※2 [2022年1月25日付、株式会社日本格付研究所（JCR）ニュースリリース「オリックス銀行株式会社のサステナビリティファイナンス・フレームワークに対してSU1（F）を付与」](#)

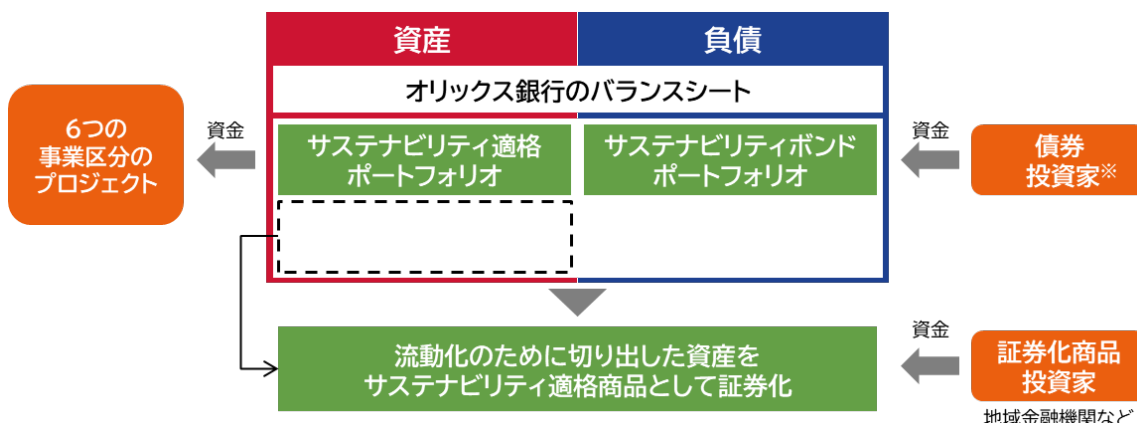
<投資家からのお問い合わせ先>

資産運用管理部 鳴原・只友 TEL：03-6722-3937

<報道関係者からのお問い合わせ先>

経営企画部 我妻・船山・遠藤 TEL：03-6722-3630

## ■サステナビリティファイナンス・フレームワークの概要



※ 「債権投資家」から「債券投資家」に修正しています

## ■本サステナビリティボンドの概要

名称	オリックス銀行株式会社第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）
社債の総額	60億円
利率	0.31%
払込金額	額面100円につき金100円
償還期限	3年（2025年10月31日満期）
払込期日	2022年11月2日
取得格付	AA- 株式会社格付投資情報センター（R&I）

## ■サステナビリティ適格クライテリア

<グリーン適格クライテリア>

事業区分	適格クライテリア
A) 省エネ性能の高い建築物やグリーンビルディング認証を取得済み、又は取得予定の建築物の建設・新規取得等への投融資（含む投資用不動産ローン）	<p>下記の評価を1種類以上得た、又は得る予定の建築物の建設、新規取得等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ZEH、Nearly ZEH、ZEH Ready、ZEH Oriented / ZEH-M、Nearly ZEH-M、ZEH-M Ready、ZEH-M Oriented</li> <li>・ BELS ★5～3</li> <li>・ CASBEE S/A/B+</li> <li>・ 認定低炭素住宅</li> </ul>

<p>B) 太陽光・水力・バイオマス・風力を含む再生可能エネルギー事業への投融資</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太陽光発電施設の開発・建設・運営事業</li> <li>・ 水力発電施設の開発・建設・運営事業（発電容量が25MW以下）</li> <li>・ バイオマス発電施設の開発・建設・運営事業（持続可能な原料又は廃棄物に限る）</li> <li>・ 風力発電施設の開発・建設・運営事業</li> </ul>
<p>C) サーキュラーエコノミーに資する分野の企業やプロジェクトへの投融資</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リサイクル工場（例：金属・プラスチック・紙等）の建設・運営・アップグレード</li> <li>・ リサイクル事業（例：金属・プラスチック・紙等）を行う企業の買収ファイナンスサポート</li> </ul>
<p>D) 脱炭素のための設備・構造改革関連投融資</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30%を超えるCO<sub>2</sub>排出量の削減に寄与する機器・設備の導入</li> </ul>
<p>E) 環境負荷低減に配慮した物流施設・倉庫への投融資</p>	<p>下記の評価を1種類以上得た、又は得る予定の物流施設・倉庫の建設、新規取得等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CASBEE不動産 S/A/B+</li> <li>・ BELS ★5～3</li> <li>・ LEED認証 Platinum/Gold/Silver</li> <li>・ DBJ Green Building認証 ★5～3</li> <li>・ BREEAM認証Outstanding/Excellent/Very good</li> <li>・ ZEB/Nearly ZEB/ZEB Ready/ZEB Oriented</li> </ul>

## <ソーシャル適格クライテリア>

事業区分	適格クライテリア
<p>F) 福祉関連投融資</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有料老人ホーム / サービス付き高齢者向け住宅 / 認知症高齢者グループホーム / 介護老人保健施設 / デイサービス施設</li> <li>・ 障がい者向けグループホーム / 障がい者のアクセシビリティ向上事業</li> </ul> <p>(対象) 高齢者、障がい者</p>

・ 事業区分 A)～F) は、いずれも改修や維持費用への投融資を含みます。

## ■本サステナビリティボンドに関する投資表明

(2022年10月27日時点、50音順)

あぶくま信用金庫

上田信用金庫

北おおさか信用金庫  
京都信用金庫  
株式会社小糸製作所  
株式会社三十三銀行  
東京東信用金庫  
東京ベイ信用金庫  
株式会社東和銀行  
半田信用金庫  
平塚信用金庫  
三井住友海上火災保険株式会社  
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

■本プレスリリースに関する注意事項

本プレスリリースは、情報提供のみを目的としたものであり、投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。